桜美林大学ジェンダー研究会“I am”作成

桜美林大学ジェンダー研究会“I am”と学ぶ！！

生理の貧困とは

生理の貧困とは…

「経済的な理由で生理用品を購入できない女性や女の子がいる状況」

？ なぜ「生理の貧困」が顕在化したの？

A 2021年3月に大学生らが立ち上げた団体「**＃みんなの生理**」が若者の生理に対するネット調査公表した結果をきっかけとして、生理の貧困が顕在化しました。

「「生理の貧困」というタブーがこの春、日本でも可視化された。大学生らが立ち上げた団体「＃みんなの生理」が３月、若者へのネット調査の結果を発表した。」※1

「生理用品に関するアンケートに答えた女性のうち、５人に１人が過去１年以内に金銭的理由で生理用品の入手に苦労したことがある――。大学生らの調査でこんな結果が出た。国会でも取り上げられ、コロナ禍もあって困窮する女性の支援策として生理用品の経済的負担を減らそうという動きが広がっている。」※2

※1 岡崎明子「（多重奏論）生理の貧困 タブーを乗り越える、想像の力」『朝日新聞』、2021年4月14日、朝刊、p15
※2 中井なつみ「生理用品代、コロナ禍で重荷「入手に苦労」20%、無償提供など支援広がる」『朝日新聞』2021年3月22日 朝刊p3

今「生理の貧困」は注目されている！